

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	平成30年3月30日（金） 午後4時00分～午後5時10分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階ホール
出席委員の 氏名又は人数	11名
欠席委員の 氏名又は人数	7名
出席職員の職・ 氏名又は人数	オブザーバー5名、事務局4名、各事業担当者
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は 協議事項	1 成果指標に基づく進捗状況の確認について 2 年次計画について 3 意見交換
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡） （以後の進行を浅野会長に依頼）</p> <p>1 成果指標に基づく進捗状況の確認について 会議資料に基づき、事務局から説明</p> <p>「鳥獣被害防止対策の推進」について、平成28年度における多可町の食肉処理加工施設への搬入頭数が0頭となっているのはなぜか。</p> <p>平成28年度は21頭の搬入があった。訂正をお願いします。</p>
事務局	
事務局	
会長	
担当者	

会 長	平成32年における多可町の将来目標人口が将来推計人口を下回っている理由は何か。
事務局	多可町では、直近の厳しい数値を踏まえ、国立社会保障・人口問題研究所のデータを下回る数値を目標値として算出した。そのため、同研究所のデータに基づく人口推計との差異が生じている。
会 長	定住自立圏の中心市は、昼夜間人口比率が 100を超えていることが要件となっている。現在は 100を下回っているが、問題はないのか。
事務局	定住自立圏を形成した当初において 100を超えていることが要件であり、その後 100を下回ったとしても制度上問題はない。
委 員	西脇市の高齢化率が既に平成32年の目標値を上回っているとのことだが、原因は何か。
事務局	若年層の人口流出が多いことなどが要因であると考えている。
事務局	2 年次計画について 会議資料に基づき、事務局から説明
委 員	「農産物直売所運営事業」について、売上額は「1億7200万円弱」となっているが、正しくは「1億7200万円強」ではないか。 また、総売上額に占める圏域内出荷者の売上額が8350万円と低くなっている要因は何か。
担当者	「1億7200万円強」に訂正をお願いする。 圏域外の出荷者数・売上額が圏域内出荷者以上に伸びている。また、圏域外の出荷者は、ブドウなどの高単価の農産物を多く出荷される傾向にあることも要因である。
会 長	成果指標の「市町施策を通じた市内・町内定着者数」は「移住・定住促進事業」の成果による数値なのか。

事務局	各市町で実施している事業による定着者数の合計を成果指標としているのが現状である。各市町単独の事業以外に連携して実施できるものがないか検討中である。
会長	「結婚活動促進事業」の実績の内訳は。
担当者	各市町でイベントを開催しており、西脇市では平成28年度に2回開催し、16組のカップルが成立した。多可町でも2回開催し、3組のカップルが成立した。
委員	コミュニティバスは、路線バスとは別のものなのか。
事務局	路線バスとは別に、各市町で独自に運行しているバスのことである。
委員	「ごみ処理事業」について、次期施設の場所は決まっているのか。 平成28年度のごみの年間排出量が目標値をクリアしており、良かったと思う。 「JR鍛冶屋線跡地道路整備促進事業」について、県施工区間の着手は平成31年度以降となっているが、前倒しで着手していただくようお願いする。
事務局	次期施設の場所については、協議中である。 ごみの年間排出量については、人口減少に伴って排出量も減少していくものと見込んでいる。それに加えて、市民の方々にごみの分別等に御協力をいただいたことで、目標値を達成できたと考えている。
担当者	鍛冶屋線跡地道路の県施工区間については、なるべく早期に着手ができるよう、県と調整しているところである。
委員	日常の買い物に困っている人が増えている。行政として何か対策はあるのか。 また、多可町では杉原紙の振興に力を入れていきたいと考えている。何か良い方法があればアドバイスをいただきたい。
事務局	高齢化が進行する中で、日常の買い物に困っている方は

	<p>今後も増加すると思われる。西脇市では、平成32年度の新庁舎の竣工に合わせて、公共交通網の再編を進めているところである。利用者にとってより利便性の高い公共交通を整備していかなければならないと考えている。</p>
委員	<p>西脇市出身の芸術家・横尾忠則氏が、作品の材料に杉原紙を使用したいという意向があると聞いている。</p>
担当者	<p>平成30年度から、商工会の若手会員で杉原紙のPRプロジェクトの実行委員会を立ち上げる。行政と民間が一体となり、様々な活動を通じて杉原紙を全国にPRしたいと考えている。</p>
委員	<p>西脇市が特産化を目指しているイチゴを、路線バスのトラックに詰め込み、神戸などへ出荷する取組を行っている。今後は販路の開拓が課題である。</p>
事務局	<p>西脇市では、イチゴ生産の研修施設を整備し、研修生の就農を支援する「スイーツファクトリー支援事業」を実施している。販路については、市内の農産物直売所を中心に出荷しているのが現状であるが、今後は都市部へも出荷できる体制を整えたいと考えている。</p>
委員	<p>田園空間博物館や旬菜館などの西脇市内の施設は、年々活気が出てきている。しかし、多可町加美区の道の駅は年々活気がなくなっていると感じる。何とか活気を取り戻したい。</p>
委員	<p>以前、芳田地区においてデマンド型バスの運行を実施したい旨の要望書を市へ提出した。圏域全体を含めた今後の公共交通の方向性を知りたい。</p>
担当者	<p>新庁舎の移転に合わせて、公共交通網の再編を進めているところである。公共交通に対するニーズは多様化していることから、より利用者のニーズに合った公共交通網を整備したいと考えている。</p>
委員	<p>西脇情報未来館と播州織工房館の運営について、今後の方向性は決まっているのか。</p>

担当者	いずれも商工会議所が運営する施設であり、今後の運営方針が課題となっているが、現時点では未定である。
委員	西脇多可新人高校駅伝競走大会を市が主催する場合、実行委員会の役割はどのようなものになるのか。
担当者	今年度から市が事務局を持っているが、従来どおり実行委員会形式で開催している。単なる競技大会に終わることのないよう、観光やまちづくりの要素を取り入れ、両市町のPRとなるようなイベントにしたいと考えている。
委員	24時間対応の介護サービスが求められる現代において、社会福祉協議会が担う役割も大きくなっている。何とか取組を進めていきたい。
委員	学校給食における地元食材の導入率はどのくらいか。西脇市と多可町で差はあるのか。 また、婚活イベントの実施によって実際に結婚された方はおられるのか。
担当者	西脇市においては、給食に使用する野菜のうち、全体の18%弱が西脇市産である。多可町においては、地元産野菜の使用割合はここ数年横ばいである。
会長	県内の他市町と比較して導入率は高いのか、低いのか。
担当者	算出方法が各市町で異なるので一概に言えない。近年、天候不順等が原因で数値は伸び悩んでいる。
担当者	婚活イベントの実績については、市が把握している分だけで3組のカップルが結婚されている。
会長	現在は市内にお住まいなのか。
担当者	市内に住んでいる方もおられるが、中には加東市に住んでいる方もおられる。
会長	以上で、予定していた議事及び意見交換を終了する。事

<p>事務局</p> <p>西脇市長</p> <p>多可町長</p>	<p>務局から連絡事項をお願いする。</p> <p>委員各位には、第4期委員として2年間御支援をいただき感謝申し上げます。委員の任期は本日で満了となるが、今後も御支援、御協力をお願いしたい。</p> <p>会長のスムーズな進行と委員各位の活発な意見交換に感謝申し上げます。西脇市と多可町は、歴史的にも密接な関わりがある。今後も両市町が連携し、様々な取組を進めていきたいので、御支援をお願いする。</p> <p>今後も両市町で連携して様々な事業に取り組んでいく。委員各位にいただいた意見を今後の事業に反映していきたい。</p> <p>(閉会)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部次世代創生課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>